

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	ゆっくり、いっしょに、楽しくをホームの理念として運営している。夏祭り他、行事を地域の方々に協力して頂き取り組んでいる。	<input type="radio"/>	地域との関わりをもち、地域の中で暮らしていくという理念を新たに組み入れた方が良いと思う。利用者さんの性格などに合わせた生活ができるよう取り組んでいる。
2 ○理念の共有と日々の取組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	理念を共有する様にミーティング時読み上げ、認識できるよう取り組んでいる。職員と利用者さんと一緒に楽しく作業したり快適に暮らせるよう取り組んでいる。	<input type="radio"/>	食事の盛付を一緒にしたり、日々話し合いを欠かさないように努めている。
3 ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。	家族も一緒に行事を楽しんだりしている。理念を家族や地域の人にもっと理解して頂けるよう取り組んでいる。	<input type="radio"/>	そのような機会をなるべく多く設け理解してもらえよう努力をしていく。
2. 地域との支えあい			
4 ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。	隣近所の方と一緒に出かけたり、積極的にコミュニケーションを取っている。	<input type="radio"/>	これからも良い関係を築いていきたい。
5 ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	地域の行事に参加したりボランティアの方々が来所されたり、交流に努めている。	<input type="radio"/>	町内会の行事に参加し、地域の人々との交流を保ち続けていきたい。
6 ○事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	職員同士の中では話をしているが、地域の高齢者の方々に何をすることはこれから話し合っていきたい。	<input type="radio"/>	地域の高齢者の方々に役立つ支援に取り組んでいきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	評価を全員で把握し、改善すべき事はすぐに対応できるようにしている。	○	今後も外部評価や自己評価を活かしていき、質の向上につなげたい。
8 ○運営推進介護を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	月1回ミーティングを行い、サービスの向上に活かしている。定期的に運営推進会議を開き、左記の報告や話し合いを行っている。		左記のようにしていきたい。
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	行事や出掛ける機会を作り、サービスの質の向上に取り組んでいる。		介護担当者が介護認定等で来所する機会がありサービスの向上に努めていきたい。
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	職員で月1回ミーティングを行い個別に話し合う機会を設けている。		そのような制度得の理解を深め、活用出来るよう学ぶ機会を作っていきたい。
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている。	職員で話し合い、虐待は見過ごさずことなく注意を払っている。		今後も虐待防止が徹底されるよう努めていくため、知識も深めていきたい。
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	家族との話し合いを設け十分な説明をし、理解、納得を図っている。		左記のように取り組んでいきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>13 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>コミュニケーションをもっと密にとり利用者さんの不満や思いをいち早く受け止められる体制を作る。議事録を作り、情報を共有している。</p>	○	<p>利用者が求めているケアを考えながら支援していきたい。</p>
<p>○家族等への報告</p> <p>14 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。</p>	<p>家族の来訪時やお便りの発行で状況を報告している。</p>	○	<p>毎月の暮らしぶりを定期的に報告し家族との信頼関係を強めていきたい。</p>
<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>15 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族来訪時、不満、苦情などの意見を聞く機会を設け、これからの運営に役立てている。</p>		<p>家族の意見、不満を聞きそれらを解決できるようこれからも対策を考えて反映させていきたい。</p>
<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>16 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1回ミーティングで職員同士で話し合いを設け意見を出し合っている。フリーノート・連絡ノートを作り、情報を共有している。</p>		<p>会議の意見を基に運営を行っている。</p>
<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>17 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>勤務調整し利用者さん・家族の要望に応えられるに確保している。</p>	○	<p>業務の見直しは継続によりベストな調整をしたい。</p>
<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>18 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>職員間でシフトを協力しあい、利用者さんへのダメージを防いでいる。</p>		<p>適切な人材育成を行い、精神的フォローも含め離職を抑える努力が必要である。</p>
5. 人材の育成と支援			
<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>19 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>職員が様々な勉強会や講習会に参加し、周りの方々から色々教えてもらい学ぶ機会がある。</p>	○	<p>内部育成にもっと力を入れ、レベルに差のない職員育成に取り組んでもらいたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>20 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>G・H協議会に定期的に参加して交流や意見を交換する機会がある。</p>		<p>ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じてサービスの質の向上をしたい。</p>
<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>21 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>ストレスを軽減する為にもコミュニケーションを取ったり、皆さんで食事をしたりしています。</p>	○	<p>もっと活用して日々の仕事につながるよう環境作りも取組んでいく。</p>
<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>22 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>研修に参加、口腔ケア・グループホーム協議会の研修、介護福祉士の勉強会など。</p>		<p>今後も研修に参加したい</p>
<p>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>			
<p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>			
<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>23 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>不安解消のため個人的にコミュニケーションを取るなど、納得できる支援を心がけている。</p>		<p>個々人にあった支援ができるようにしていきたい。</p>
<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>24 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>家族の困っている事などの話を聞き、職員全員が受け止める様知る機会を作っている。面会は自由である。</p>		<p>家族と話せる機会があれば話し、不安や求めている事等をよく聞き受け止める努力をしていきたい。</p>
<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>25 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>安全を第一に考え職員・家族間でどのような支援が必要か話し合い対応に努めている。</p>		<p>より良い対応をし続けたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>26 ○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>	<p>利用者さんとコミュニケーションを取りながら雰囲気の良いホームを心掛けている。</p>		<p>体験を通して利用される本人や家族の安心をもっと得られるように工夫したい。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
<p>27 ○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>	<p>業務におわれ一緒に過ごす時間が少ない時もあるが、一緒に過ごす事で学べる事が沢山ある。喜怒哀楽を共にし信頼関係を築いている。</p>		<p>一緒に過ごす時間を多く取るよう努力していきたい。</p>
<p>28 ○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>行事に参加したり来所して頂く事で家族も楽しんで頂けるよう心掛けている。</p>	○	<p>家族とのコミュニケーションを取りお互いを支えあう関係を維持していきたい。</p>
<p>29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。</p>	<p>利用者さんと家族との関係性を職員がよく知り、良い関係を保っていけるよう心掛けている。</p>		<p>本人と家族がより良い関係を保てるよう支援していきたい。</p>
<p>30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>利用者が馴染みにしてきた方が気軽にホームに来所できるシステムである。友人、隣近所の方、元生徒、弟子など。</p>		<p>今後も利用者の知人や友人との関係が途切れないよう支援していきたい。</p>
<p>31 ○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。</p>	<p>利用者さんと個人的に関わり、なるべくすこやかに生活できる様に努めています。</p>	○	<p>レクレーション以外にも利用者さん同士が関わり合い支えあえるよう努めていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	家族来訪時等に行事に参加して頂くなど良い関係を作っていけるよう心掛けています。		良い関係を継続していきたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者さんが楽しく暮らしていけるよう本人や家族との話し合いを心掛けている。		利用者の思い暮らし方の希望をよく聞き支援に努めていきたい。
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	個人ファイルに今迄の生活歴等を記入し、生活環境にあったサービスを心掛けている。		利用者さんの暮らし方を大切に支援していきたい。
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	利用者さん個々の現状を把握し、声掛けなどで心身状態等も良くしていきたい。		個人ファイルだけでなく申し送り時にも様子を伝えています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	本人の意見を尊重し又、必要時家族との相談により、作成見直しをしている。		本人が暮らしやすい支援ができるよう意見を出し合い介護計画を作成していきたい。
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	毎月必要時はその都度見直し介護計画を作成している。		その時々々の現状に合った新たな介護計画を作成していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の日常生活の様子は個人記録に残し、介護計画の見直しに活かしたいと思う。	○	マンネリ化した記録ではなく、関わりの時間を大切にして記録に反映させていく。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	利用者さん本人や家族の要望に答え、職員間で話し合い、気持ちよく生活して頂けるよう支援する。		対応をより柔軟にしたい
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○ 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	ボランティアの方々が来所したり、書道の先生が月1回来所され指導して頂いている。		すべての利用者さんが参加できることはないか考えたい。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	デイサービス・デイケアに行っている。		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。			
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	月二回かかりつけ医の往診がある。又、必要時Drと連絡しあい情報交換の出来るシステムになっている。		今後も継続し又、必要がある時は他の医療も受けている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	認知症専門医の受診もしている。	<input type="radio"/>	今後も必要時、受診できるよう支援していきたい。
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	施設長が看護師である為、健康管理や医療支援を行っている。	<input type="radio"/>	今後も日常の健康管理や医療支援をしていきたい。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	出来るだけ早期に退院できるよう病院関係者と情報交換し個人記録に記載し職員全員が解るようになっている。	<input type="radio"/>	医療機関と協力し合い支援していきたい。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	家族とどのような支援をすればよいか話し合い、その取り決めに文章化している。	<input type="radio"/>	家族と十分話し合い、今後の支援方針を決めていきたい。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	日々をより良く暮らせる為の検討はミーティング等により支援できるようにしている。	<input type="radio"/>	今後の変化に備えて検討や準備を行っていきたい。
49 ○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	利用者本人の事をよく理解し、本人の住みやすい環境であることを十分話し合い決める。	<input type="radio"/>	住替え等の機会があれば対応できるよう考えて行っていきたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	利用者さん一人一人の性格を尊重し、プライバシーを守る言葉かけをしている。	<input type="radio"/>	一人一人に適した言葉かけをしていきたい。慣れの姿勢が出ない様に気をつけていきたい。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	利用者さんの思いを職員がサポートし納得して暮らせるよう支援していきたい。	<input type="radio"/>	自分で決められるよう話し合いながら生活して頂きたい。
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者さん個々の生活ペースをつかみ希望に添って支援したい。	<input type="radio"/>	その人らしい暮らしができるように希望を聞き支援していきたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	理・美容は出掛けられる人は出掛け、出掛けられない人はホームに来て頂き支援している。洗面後、化粧水、クリームをつけて肌の手入れをしている。化粧をしている方もいる。	<input type="radio"/>	今後もおしゃれが出来るよう支援していきたい。
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者さんと出来る時は盛付や、茶碗洗いなどを手伝って頂いたり一緒にコミュニケーションを取っている。	<input type="radio"/>	出来る範囲の手伝いを他の利用者にも行って頂けるよう支援をしていきたい。
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	利用者さんの体のことを考えつつも、お酒・タバコ等も楽しめるようにしている。	<input type="radio"/>	食事を楽しみ、楽しい会話ができるよう努めていきたい。
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	利用者さんの事を考え時間を決めたり状況を見て気持ちよく排泄出来るよう支援している。	<input type="radio"/>	今後も気持ちよく排泄できるよう支援していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	入浴するかどうか時間はどうか聞き希望に添えるよう支援している。		入浴を楽しめる支援をしていきたい。午後からの入浴である。一人づつ30・40分かけている。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	本人の習慣や希望にあわせて支援している。	○	安心して休めるよう支援していきたい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	利用者さん個々の楽しむ事をしたり、皆さんでおやつを楽しむ時間を作るなどしている。		今後も希望に添うように努めていきたい。
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	小遣い程度の金額を自分で管理している人もいるが、殆んどの方は施設で管理をしている。		欲しい物を一緒に買いに出かけたい。
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	毎日ではないが散歩に行ったりドライブで出掛けるなどで楽しんで頂けるよう心掛けている。	○	思い出に残る楽しい外出支援を続けたい。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	家族との外出、外泊はある。11月には希望者のみ温泉観劇一泊旅行をしている。		外出の機会を増やしていきたい。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	利用者さん自ら電話をしたり手紙のやり取りが出来るように支援している。手紙は一緒に文を考えるなどしてなるべく本人の字で書いて頂けるよう心掛けている。居室に電話をつけている方もいます。		電話、手紙のやり取りを今後も継続支援したい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	利用者さんの家族や知人の方がいつでも気軽に訪問できるよう支援している。		来訪者が居心地良く過ごせるよう支援していきたい。
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束をしないように努めている。		もっと正しく完璧に理解し他のスタッフにも教えられるよう努めたい。
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	利用者個々の特徴や不安の原因に留意し、安全面も重視しながら鍵をかけないケアに取り組んでいる。		
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	利用者さんが安全に暮らせるよう職員間声を掛け合い所在場所や様子を把握している。	○	
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	注意の必要な物品は危険がないよう保管している。目配り気配りをしている(包丁、ハサミ)。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	基本的な事故防止には取り組んでいるが十分ではないので学ぶ機会を職員全員に設けて欲しい。	○	多くの研修に職員が参加しレベルの向上に努めたい。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	全ての職員が理解応用されるまでには至っていない。		定期的に訓練が必要。知識を深めていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	防災訓練を春、秋実施している。災害時は地域の人々の協力を得られるよう働きかけを行っていく。		近隣との連携が取れるよう日頃からアピールしていきたい。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	家族等にも説明し、安全に暮らせる工夫をしている。		リスク回避に努めながら支援していきたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	利用者さん一人一人の事で気付いた事があれば速やかに対応するよう努めている。その都度「報・連・相」し、協力しあっている。	○	体調変化を把握し、日々の生活支援をしていきたい。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	職員がローテーションで日直をし、薬が変わったらノートでもわかる様、誤薬防止に努めている。	○	2人以上の目で確認し完全服薬に努めている。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	散歩に出掛ける等、体を動かして頂けるよう支援している。	○	下剤に頼らない支援をしていきたい。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	朝夕の洗顔、うがい等は必ず行い又、歯科医に来所頂き口腔状態の診察を受けられるよう支援している。	○	口腔状態が清潔に保てるように積極的に支援していきたい。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	栄養バランスを考え、栄養士の献立を利用・管理している。	○	食べる量が偏らないように声掛けをしている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取組みがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	予防として手洗い、うがい、予防接種の実施を行っている。	<input type="radio"/>	感染症ファイルがあるが、意識は高くはないと思われるのでレベル向上に努めたい。
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	食事をとりあつかう際は必ず消毒し、又、皿・コップ等食器類は日程を決めて消毒している。	<input type="radio"/>	消毒は徹底して行っていきたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	利用者さんや家族が親しみやすいよう、ホームの周りに植物をたくさん植えている。畑には野菜を作っている。		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	食堂には花を飾り、食事時には楽しい音楽をかけている。季節にひな人形、五月人形等を飾っている。		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	利用者さんが趣味に没頭したり、利用者さん同士でコミュニケーションが取れるリビングで思い思いに生活して頂きたいと心掛けている。		
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	利用者さんの生活歴や関係する好みの物を置いて本人が居心地良く過ごせる様支援している。		本人が居心地良く過ごせる居室の工夫をしている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	暑い日には窓を開け、自然の風が入るようにしている。トイレには消臭剤を置き、不快な臭いが留まらないようにしている。		こまめな空気の入替えの継続。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	バリアフリーであり、手すりの設置。2階にはエレベーターも設置されている。	○	状況が変わればその都度検討していく。
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	なるべく利用者さん一人一人に気を配り、不安を取り除く努力をしている。	○	利用者に合わせた言葉を選び、混乱させないよう支援していきたい。
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	畑があり季節に応じた野菜を作ったり、収穫をしている。ベンチがあり、日光浴ができるようになってきている。バーベキューパークゴルフ等で楽しんでいる。		多くの利用者にもっと楽しみながら活動してもらえよう取組んでいきたい。

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく ①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

1年毎に高齢化し認知症の進行もみられるが元気で笑顔のある生活場面が見られる。利用者同士助け合っている場面を多く見ることがある。お互い気を使いながら楽しく生活していると思う。居間には自然と人が集まり、賑やかで会話が弾み、笑いが絶えない。